

『庄内っこ日和』

令和4年2月1日
庄内こどもの杜幼稚園
教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のもりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする”ドキュメンテーション”です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。このお便りを通して、日々の子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。

今回は、もりのこっこもも組（冬）服部緑地公園で自由あそびをお伝えしたいと思います。

今回のねらい: 保育者や他児と一緒に自然の中を散策し発見を楽しむ

うさぎ組さんが作ったお家が…

もも組のもりのこっこの前週に、うさぎ組さんが服部緑地公園の同じ場所で遊びました。すると、そこには、前週うさぎ組さんが作った木の枝のお家が！誰かが、遊んだのか、葉っぱの屋根も付け加えられていました。子どもたちは先生と「一緒に入ってみよう」と中に入ってみたり、枝を運んでさらに大きくしたり、葉っぱをさらに上に乗せ大きくしたりと工夫して遊ぶ姿がありました。固定遊具と違い、進化・変化し続ける事が出来る自然物。子どもたちにとって、これ以上の教材は無いのではないのでしょうか…

もも組さんが遊んだ後に、またどこかの誰かが遊んでいると思うと、大変豊かな遊び方だと思いませんか？



もりのこっこもも（冬）

服部緑地公園で自然あそび

レンズの向こうにある世界…



まずは話を聞いて…

服部緑地公園に到着！まずは、京極先生から遊び方や、ルールの話聞いてから、自由あそびスタート！自然物を見つけると、「ごなんあった！」「キノコが生えてる」など、様々なものを見つける子どもたち。虫眼鏡や、双眼鏡片手に走り回っていました。レンズの向こうに広がる世界に、何が見えたかな… 夢中になる顔、楽しむ顔。様々な子どもの表情からどんな世界が見えるか、このドキュメンテーションを通して、ぜひ想像してみてください。



楽しいことミツケ！

おにぎり食べたら、探検行きたい！

昼ごはんを食べ終わると、公園内を探検に出た子どもたち。クラスで流行っている忍者になりきって「〇〇の術」と言いながら、草むらの中をくぐり抜けたり、溝をジャンプで越えたり、切り株から切り株へ飛び移ったりと色々な動きを経験しました。普通のお遊びも、何かになりきって遊ぶ事で、楽しさがより深まっていたのかもしれない。

